

校長室だより 春日 (しゅんじつ)

校長 清武 直人

うれしいお便り

「突然のお手紙を失礼します。春日小学校の生徒さんの心優しい行動に感激致しましたので筆をとりました。……」

先日、私宛に1枚の葉書が届きました。お葉書を書いてくださった方のお母様が、4年生の加藤ひろき君と同じマンションに住んでいらっしゃるそうです。

お母様は、ご高齢で足が不自由で、一人では外出ができないのだそうです。ですから、お手紙をくださったこの方が、お仕事の帰りに食事を届けるとい生活をしていらっしゃるとのこと。

先日、お母様を車で病院に連れて行った帰り、お母様をマンションの入り口の所に降ろし、お母様を待たせたまま車を駐車しようとしていたら、

「4年生の加藤ひろき君がマンションの入り口の鍵を開けて、母を優しく誘導してくれていました。本当にありがたく、母もとても喜んでおりました。」



なんとうれしいお便り。
なんとすてきな加藤君でしょう。
加藤君の心がうれしい！
お便りを書いてくださった方の
心がうれしい！



ジュビリーちゃん

ジュビリーちゃんは2年生。
アメリカからやって来た女の子。
アメリカは今夏休み。
日本人のお母さんの故郷で
日本の小学校の体験入学。

ジュビリーちゃんは
春日小学校の給食が大好きで
毎日「おいしい！」
って言ってくれます。

いつの間にか、ジュビリーちゃんの
「おいしい！」が調理員さんたちの喜
びになっているんです。



うじゃうじゃ

朝、いつものように校門に立っていると、2年生の女の子たちがうれしそうに手に何かを握ってやって来ます。何だろうと思って手の中を見せてもらおうと、なんとダンゴムシ。それも、1匹や2匹じゃないんです。

可愛らしい手の中に
うじゃうじゃいるんです。

3年生の女の子が虫かごを手に提げてやって来ました。何だろうと思って虫かごの中を覗かせてもらいました。なんと、ナメクジなんです。それも、1匹や2匹じゃないんです。

虫かごの中に
うじゃうじゃいるんです。



これはカタツムリ

子どもの頃

そう言えば、私だって子どもの頃、青虫をたくさん捕まえてきて、家の中を青虫がうじゃうじゃはい回っていたことがありました。

そう言えば、子どもの頃、トカゲやクモをさわることなんてへっちゃらでした。でも、今は、トカゲやクモが出てくるとどび上がっています。

不思議です。子どものころは自然界の全てのものが友達だったのに、大人になってしまうと、なかなかそうはいきません。大人になるといことは、楽しみが減っていくということでしょうか。

